

科目名 哲学	履修単位 1単位	授業時間(回数) 30時間(15回)	
学年 1学年	開講時期 前期		
科目責任者 大江 朱実	担当講師 大江 朱実		
科目目標 臨床現場で起こりえるさまざまな倫理的問題について、基本的な知識を得るとともに、問題を解決するために役立つ方法論を身につけること			
教育目標との関連性 1年次到達目標：3・5・7・10・11			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	イントロダクション	生命倫理の歴史と方法論(1) 四原則	講義
2	生命倫理の方法論	臨床倫理の四分割表	講義
3	インフォームド・ コンセント	ICの概要	講義
4		宗教上の理由による治療拒否	GW
5		がんの告知	講義
6		難病告知	映像
7	生殖と医療	中絶(1)	講義
8		中絶(2)	GW
9		生殖補助医療(1)	講義
10		生殖補助医療(2)	講義
11	終末期医療	脳死と臓器移植	講義
12		安楽死(1)	講義
13		安楽死(2)	GW
14		難病	映像
15	試験	筆記試験・まとめ	
成績評価の方法・配分 *状況によって変更になる場合がある 筆記試験(100%)			
テキスト 系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院			
サブテキスト			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他			

科目名 情報リテラシー I	履修単位 1 単位	授業時間 (回数) 1 5 時間 (7 回)	
学 年 1 学年	開講時期 前期		
科目責任者 佐藤 初枝	担当講師 佐藤 初枝		
科目目標 情報を取り扱う法的責任・情報管理能力を養う。			
教育目標との関連性 1 年次到達目標：5・7・10			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	情報セキュリティ	情報セキュリティとは 情報漏えいとは	講義
2	情報漏えい対策法	ウイルス・スパイウェアの侵入とその経路 サーバ・ネットワーク対策	講義
3	インターネット社会の特性	インターネット社会とは ネットいじめ・架空請求・スパムメール対策	講義
4	情報社会の法令	情報モラルとは 個人情報 知的財産権	講義
5	デジタルコミュニケーション	ネットワーク上のモラルとマナー	講義
6	情報の信頼性や信憑性	情報の信頼性・信憑性	講義
7	情報モラル	情報発信者の責任と配慮	講義
8	試験	小論文形式にて実施・まとめ	
成績評価の方法・配分 *状況によって変更になる場合がある 筆記試験 (100%)			
テキスト 授業ごとにレジュメを配布			
サブテキスト 必要に応じてプリントにて資料を配布予定。			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他 基本的にシラバスに沿って授業を進めるが、多少順序が入れ替わることがある。			

科目名 情報リテラシーⅡ	履修単位 1 単位	授業時間 (回数) 30 時間 (15 回)	
学 年 1 学年	開講時期 前期		
科目責任者 湯山 祥	担当講師 湯山 祥		
科目目標 Microsoft Office を不自由なく使用できるようにする。同時にコンピュータとネットワークに関する基礎知識を学び、情報リテラシーを身につける。			
教育目標との関連性 1 年次到達目標：5・7・10			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	コンピュータ基礎	PC 基礎知識・操作、フォルダ管理、セキュリティ、メールの書き方、アカウントの取得、保存、タイピング	講義・演習
2	Word(1)	ワードアート、テキストボックス、図	講義・演習
3	Word(2)	文字と段落の書式設定、表、パスワード設定	講義・演習
4	Word(3)	スマートアート、レイアウト/印刷設定、インデント	講義・演習
5	Excel(1)	数式、関数(sum, average, max, min, small など)	講義・演習
6	Excel(2)	基本統計量、関数(if など)、絶対参照・相対参照	講義・演習
7	Excel(3)	グラフの作り方、印刷設定	講義・演習
8	Excel(4)	グラフ作成におけるデータの指定の仕方、軸ラベルやマーカーなどの追加	講義・演習
9	Excel(5)	レイアウト、Excel まとめ	講義・演習
10	PowerPoint(1)	スライドの作成、アニメーション、個人作成	講義・演習
11	PowerPoint(2)	プレゼンテーション用資料作成(グループワーク)	講義・演習
12	PowerPoint(3)	プレゼンテーション用資料作成(グループワーク)	講義・演習
13	PowerPoint(4)	プレゼンテーション発表	講義・演習
14	模擬試験・総復習	模擬試験と解説	講義・演習
15	試験	実技試験	
成績評価の方法・配分 *状況によって変更になる場合がある 筆記試験 (40%) 実技試験 (60%)			
テキスト 授業毎にレジュメを配布			
サブテキスト テキストや参考になりそうな Web サイトは授業時に都度紹介する。			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他 ①作成したファイルは学校の PC 内のフォルダで管理する。ただし、他の授業で作成したレポートなどを管理するために、自身で USB フラッシュメモリなどを用意することを推奨する。 ②基本的にシラバスに沿って授業を進めるが、多少順序が入れ替わることがある。			

科目名 論理学	履修単位 1単位	授業時間(回数) 30時間(15回)	
学年 1学年	開講時期 前期		
科目責任者 植垣一彦	担当講師 植垣一彦(実務経験有)		
科目目標 「認識の三段階連関理論」をとおして、認識発展の論理構造を学び、論理的に思考する能力を高める。			
教育目標との関連性 1年次到達目標：3・10・11・12			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	第1部 認識の論理	・認識発展の論理と法則性 ・要約とキーワード	講義
2	認識の三段階連関理論	・認識の「のぼりおり」	講義
3	「のぼりおり」の姿	・ナイチンゲールとヘンダーソン ・看護現場	講義
4	「のぼりおり」看護短文づくり	・論理的な文章構成	講義・演習
5	「のぼりおり」文章講座	・四部構成と三部構成	講義
6	第2部 表象の論理 表象(1)	・比喩のチカラ	講義
7	表象(2)	・標識のチカラ	講義・演習
8	表象(3)	・絵図のチカラ	講義
9	第3部 概念化の論理	・「三段階」思考法 ・「看護師とはなにか」作品づくり	講義・演習
10	発表交流	・発表交流会	講義・GW
11	第4部 認識史の論理	・認識の三大世界	講義
12	科学的認識	・科学的認識世界	講義
13	前科学的認識	・コトワザ的認識世界	講義・演習
14	非科学的認識	・俗信的認識世界	講義
15	試験	・試験とまとめ	
成績評価方法・配分 筆記試験(100%)			
テキスト 講義時の資料配布			
サブテキスト			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他			

科目名 心理学	履修単位 1単位	授業時間(回数) 30時間(15回)	
学年 1学年	開講時期 前期		
科目責任者 大内 里紗	担当講師 大内 里紗		
科目目標 心理学は科学であるとの認識を深め、体験し、看護に役立てる方法を学ぶ。			
教育目標との関連性 1年次到達目標：1・6・7・10・11・12			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	心理学とは	授業ガイダンス/心はどこにあるのか	講義・GW
2	記憶・知覚	記憶の種類・改変	
3	学習	学習モデル/動機づけ	
4	思考	問題解決/バイアス	
5	発達	発達段階/発達理論/ライフレビュー	
6	情動	感情の種類/表情/感情制御	
7	性格	性格とは/ビッグファイブの実施と分析	
8	欲求	欲求とは/欲求不満と適応機制	
9	社会的認知	印象形成/ステレオタイプ	
10	自己	自己概念/自己認識の構造と限界	
11	社会的影響	社会文化的影響/他者の存在	
12	人間関係	親密関係と魅力/攻撃性	
13	心の健康	心の問題の捉え方/心の問題	
14	医療職と心理	対人援助/心の問題	
15	試験	筆記試験・まとめ	
成績評価の方法・配分 筆記試験(100%)			*状況によって変更になる場合がある
テキスト 系統看護学講座 基礎 心理学(医学書院)			
サブテキスト			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他 出席・授業態度・課題の記入状況なども評価対象となる			

科目名 教育学	履修単位 1 単位	授業時間 (回数) 1 5 時間 (7 回)	
学 年 1 学年	開講時期 前期		
科目責任者 山田 記一	担当講師 山田 記一		
科目目標 1. 教育の原理および教育方法の基礎を学ぶ 2. 看護師として教育的機能を果たすことができる能力を養う			
教育目標との関連性 1 年次到達目標：7・10			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	教育学を学ぶ意義	教育の本質 人間と教育、自身の教育観の明確化	講義
2	社会の変動と教育	教育の原点としての家庭教育の重要さと影響について	講義
3	学校教育史	明治～大正期 「儒教道徳」の存在と学校教育との 関わり 昭和前～中期 軍国主義への経緯	講義
4	学校教育史	昭和中・後期～現在 第2次大戦後の制度変化 現在の学校教育とこれからの課題	講義
5	学習理論	学習の理論的意義 学習指導の原理 指導技術	講義
6	学習と発達	学習の動機づけ 発達理論 動機づけと発達との関わり	講義
7	教育評価	教育評価の視点と方法	講義
8	試験	小論文形式にて実施・まとめ	
成績評価の方法・配分 *状況によって変更になる場合がある 筆記試験 (100%)			
テキスト 必要に応じプリントにて資料を配布予定。			
サブテキスト 体系道徳教育の理論と指導法 早田幸政編著 (エイデル研究所)			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他 授業内容の一層の明確化を図るべく状況に応じて視聴覚教材も活用予定。			

科目名 社会学	履修単位 1 単位	授業時間 (回数) 1 5 時間 (8 回)	
学 年 1 学年	開講時期 前期		
科目責任者 小口 恵巳子	担当講師 小口 恵巳子		
科目目標 社会の構造と機能、および社会的な人間行動を学び、社会的存在としての多様な人間理解を深める。			
教育目標との関連性 1 年次到達目標 : 1・2・7・10・11・12			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	社会学とは	社会学の基礎概念	講義
2	社会的人間の存在	社会学的視点とモデル	講義
3	ジェンダー	性別・性差とは ジェンダーと役割	講義
4		ジェンダーと健康、男女共同参画社会の形成に向けた取り組み	講義
5	家族	家族とは何か：定義・形態・機能	講義
6		育児と介護・ダブルケア問題	講義
7	社会的問題と構造	保健医療システム現代的变化、わが国の医療システムの特徴と課題	講義
8	試験	筆記試験・まとめ	講義
成績評価の方法・配分 *状況によって変更になる場合がある 筆記試験 (100%)			
テキスト 系統看護学講座 基礎分野「社会学」(医学書院)			
サブテキスト			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他			

科目名 国際社会学	履修単位 1 単位	授業時間 (回数) 1 5 時間 (8 回)	
学 年 1 学年	開講時期 前期		
科目責任者 小口 恵巳子	担当講師 小口 恵巳子		
科目目標 国際社会の仕組みを学び、人々の生活と文化、社会情勢から多様性を学び国際的な視野を養う			
教育目標との関連性 1 年次到達目標：1・2・7・10・11・12			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	国際社会の仕組み	国際社会学の基本的な考え方	講義
2		国際化・グローバル化と社会構造の変化	講義
3	世界経済とくらし	多民族化・多文化する社会の理解	講義
4		国境を超えて移動する人々	講義
5	生活・宗教と文化	日本人と宗教、多様文化の中の宗教と世界観	講義
6	多文化共生時代に求められる医療	グローバル化する医療の現状	講義・GW
7		多文化共生時代に求められるケアと今後の課題	講義・GW
8	試験	筆記試験・まとめ	講義
成績評価の方法・配分 * 状況によって変更になる場合がある 筆記試験 (100%)			
テキスト	系統看護学講座 国際社会学入門	基礎分野「社会学」(医学書院) 石井香世子著 (ナカニシ出版)	
サブテキスト			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他 系統看護学講座 基礎分野「文化人類学」(医学書院)			

科目名 生活科学	履修単位 1 単位	授業時間 (回数) 1 5 時間 (8 回)	
学 年 1 学年	開講時期 前期		
科目責任者 金子 礼子	担当講師 金子 礼子		
科目目標 健康に生きるための衣食住、及び家庭の経済のあり方について学び、自己の生活を管理する能力を身につける。			
教育目標との関連性 1 年次到達目標：2・7・10・11・12・13			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	生活と健康	日常生活を科学的思考でみる 生活とは何か 日常生活と健康の関わり	講義
2		生活の変化 日本の生活の変遷について	講義
3		生活環境について 現代の生活環境について	講義
4		食生活について 食の意味、意義と効用 食品表示等	講義
5		衣生活、住生活について 衣の意味、意義、場における礼儀と衣服 洗濯方法等	講義
6		家庭経済について 生活費、家庭経済の運営管理 給与、等	講義 講義
7		健康的な生活管理 グループ・ワーク 発表	GW
8	試 験	筆記試験・まとめ	
成績評価の方法・配分 課題 (100%)			* 状況によって変更になる場合がある
テキスト 必要に応じてプリント配布します。			
サブテキスト			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他 授業への参加状況、あり方、レポートも評価対象となる。			

科目名 人間関係論 I	履修単位 1 単位	授業時間 (回数) 30 時間 (15 回)	
学 年 1 学年	開講時期 後期		
科目責任者 齋藤 一政	担当講師 齋藤 一政		
科目目標 目的 人間関係の基本を学び、看護実践における人間関係成立に必要な知識を学ぶ。 目標 1. 人間関係の意義、個人と社会的相互作用が理解できる。 2. 自己に対して深く考え、理解できる。 3. 看護における人間関係を成立させるためのコミュニケーションが理解できる。			
教育目標との関連性 1 年次到達目標 : 2・6・9・10・11・12			
回数	項目	授業内容	方法
1	人間関係論 概論		講義
2	社会的相互作用と社会的役割		講義
3	自己同一性	自己認知・自尊感情・Who am I テスト	講義
4		心の構造理論・エゴグラム	講義
5		YG 性格検査	講義
6	ストレスマネジメント	バーンアウト・ストレスチェックリスト	講義
7	患者の心理		講義
8	援助的コミュニケーションの実際		演習
9			
10	トラストワーク		演習
11	聴き方ワーク		演習
12	コミュニケーション	総論・技法	講義
13		ワーク非言語	演習
14		ワーク言語	演習
15	試験	講義・レポート提出	試験
成績評価の方法・配分 *状況によって変更になる場合がある 授業終了後の振り返り提出、レポート課題など			
テキスト			
サブテキスト			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他			

科目名 レクリエーションⅠ	履修単位 1単位	授業時間 15時間(8回)	
学年 1学年	開講時期 前期		
科目責任者 大山 玲子	担当講師 大山 玲子(実務経験有)		
科目目標 健康の保持増進、生活を豊かにするためのレクリエーションの役割と方法を理解し、実践をととして、心とからだの健康管理方法を学ぶ。			
教育目標との関連性 1年次到達目標: 2・10・11・12・13			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1～2	Briefing	健康生活を支えるレクリエーションの意義 レクリエーション概説 レクリエーション支援理論 遊び(play)の理論	講義 実技
3～4	ASE活動	現代社会における余暇活動 Action Socialization Experience(グループワーク) ニュースポーツ 体カづくりプログラム インディアカ、室内球技、その他、 ブラインドスポーツ	実技 GW
5～6	演習企画・演習準備	グループレクリエーション計画 発達体カづくりプログラム	演習 GW
7	演習発表 Debriefing	グループレクリエーション発表会 まとめ・ふりかえり	演習
8	試験	筆記試験	
成績評価の方法・配分 *状況によって変更になる場合がある ・授業への参加状況、グループの参加状況、筆記試験による総合評価(100%) ・スポーツの上手下手や知識・技術の習得レベル(to have)よりも、どのように自分らしさを活かすかという一人一人の「姿勢(在りかた・to be)」を評価します。			
テキスト 必要に応じてプリントを配布する			
サブテキスト			
事前・事後学習内容と方法			
その他 体育館での活動の際は、動きやすい服装・体育館シューズを用意する(捻挫等防止の観点から、ナースシューズ以外が望ましい)。スカート及びジーンズは不可。アクセサリーなど邪魔になりそうなものは外す。名札としてフルネームを明記したものを貼付する。			

科目名 英語	履修単位 1 単位	授業時間 (回数) 1 5 時間 (8 回)	
学 年 1 学年	開講時期 後期		
科目責任者 ブーン大山	担当講師 ブーン大山 渋谷 陽子		
科目目標 英語に親しみ、言語表現力、読解力を高め、看護に関する英語文献を活用したり、日本で働く外国人労働者や国際社会に対応する能力を養う。			
教育目標との関連性 1 年次到達目標：1 0 ・ 1 1 ・ 1 2			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	Unit 1	オリエンテーション HINTS TO EASY ENGLISH/Manuscript Alphabet Cursive Alphabet/Basic Phonics Word List Opening Greetings/Goodbye Greetings	講義
2	Unit 2	Introducing Yourself/Four Pattern Practice	講義
3	Unit 3	Questions to ask after the greetings Everyday Questions&Answers in Pairs	講義
4	Unit 4	Nurse' s Favorite Phrases I	講義
5	Unit 5	Nurse' s Favorite Phrases II	講義
6	Unit 6	Boon Nursing Vocabulary	講義
7	Unit 7	At Internal Medicine Department<内科にて>	講義
8	Test	FINAL TEST (Introducing Yourself)	
成績評価の方法・配分 *状況によって変更になる場合がある プレゼンテーション テキスト課題の提出 (100%)			
テキスト English Conversation For Nursing, 2024			
サブテキスト			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他 テキスト代 1000 円が必要となります。			

科目名 レクリエーションⅡ	履修単位 1単位	授業時間 15時間(8回)	
学年 2学年	開講時期 前期		
科目責任者 大山 玲子	担当講師 大山 玲子 (実務経験有)		
科目目標 発達段階に合わせた、健康維持・増進・回復促進に向けたレクリエーションを、チームで企画・運営・実施・評価を行い対象に合わせたレクリエーション方法を学ぶ。			
教育目標との関連性 2年次到達目標：2・3・10・11・12			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	導入	対象に応じたレクリエーションの意義 乳幼児期・成人期～老年期 集団・施設におけるレクリエーションの意義	GW 演習
2	企画・運営	・グループで、対象に合わせたレクリエーションを 企画・運営計画を決定し準備を開始 介護予防のためのレクリエーション 発達促進のためのレクリエーション 健康回復のためのレクリエーション 体力維持・増進のためのレクリエーション	GW 演習
3			
4			
5			
6	グループ発表	対象に合わせたレクリエーション企画を発表 ふりかえり・評価	GW・全体
7	まとめ		
8	試験	筆記試験(記述形式)	
成績評価の方法・配分 *状況によって変更になる場合がある 授業・グループワークへの参加状況、筆記試験による総合評価(100%)			
テキスト 企画・運営に必要なテキストを準備してください。(例：形態機能学、各看護学概論など)			
サブテキスト			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他 体育館での活動の際は、動きやすい服装・体育館シューズを用意する(捻挫等防止の観点から、ナースシューズ以外が望ましい)。スカート及びジーンズは不可。アクセサリーなど邪魔になりそうなものは外す。名札としてフルネームを明記したものを貼付する。			

科目名 人間関係論Ⅱ	履修単位 1単位	授業時間(回数) 15時間(8回)	
学年 3学年	開講時期 前期		
科目責任者 専任教員	担当講師 専任教員(実務経験有)		
科目目標 グループダイナミクス及び効果的な組織活動について理解を深める。 1. 看護実践において、人間関係構築に必要な構成要素について理解し実践することができる 2. 組織作りに必要な構成要素・組織活動について理解を深めることができる 3. 協働関係の構築に必要なことは何かを考え実践することができる			
教育目標との関連性 卒業時到達目標：3・5・8・9			
回数	単元・項目	授業内容	方法
1	チームビルディング①	・ワークを通して、自己の傾向や課題に気づく ・一方向・双方向のコミュニケーション	講義・GW
2	チームビルディング②	・肯定的な聴き方を学ぶ(傾聴・共感) ・チームづくりの第一歩(計画を立てよう)	講義・GW
3	チームビルディング③	・ホスピタリティ・マインドを育む (心をこめる、心のこもった対応、相手を尊重する)	GW
4	チームビルディング④	・自分の伝えたい事を上手に伝える (アサーション・リーダーシップ・コーチング コンセンサス)	GW
5	チームビルディング⑤	・合意形成の大切さに気付く (情報共有・決定のプロセス)	GW
6	チームビルディング⑥	・リーダーシップを理解する (チームの目的・目標にむかって活動することとは)	GW
7	チームビルディング⑦	・チーム力を高める (目標・方針の決定、プロセスの共有、助け合える人間関係)	GW
8	まとめ	・人間関係論Ⅱの学びについて 保健医療チームの一員として、人間関係、協働関係を築く ために必要なこととは何か。	
成績評価の方法・配分 *状況によって変更になる場合がある 出席状況と授業への参加態度等を総合して評価する。100%			
テキスト プリント			
サブテキスト なし			
事前・事後学習内容と方法 授業内で提示			
その他 グループワークやエクササイズ、ロールプレイを多く取り入れた体験型の授業となるため、授業への主体的な参加が求められる。			